

# 教会歴史を自分自身に当てはめる

## 活動A

### 福音を宣べ伝える

預言者ジョセフ・スミスは以下のように記しています。「迫害によって真理の進歩は止まらなかった。」(History of the Church, 4:540) 主はそれまでに十二使徒定員会の多くを海外への伝道に出るよう召しておられました。病気や困難にもかかわらず、決意を固めたこの兄弟たちは従順にノーブーを離れて奉仕に出かけました。その結果、(おもにイギリスの)何千もの人が神から証を受けて教会に加わり、ノーブーに向かいました。それは教会にとって大きな力となりました。

1ニーファイ3:7と教義と聖約3:1を読み、この伝道活動の事例とどのように関連しているか考えてください。

## 活動B

### 扶助協会の設立

聖徒たちがノーブー神殿を建設していたとき、何人かの姉妹が、神殿建設に取り組む男性の多くに靴やズボン、シャツが足りないことに気づきました。姉妹たちは主から靈感を受けて女性のグループを組織し、協力して、足りない衣類を用意し始めました。当時の似たような団体と同様に、規約を起草し、ジョセフ・スミスに提出して承認を求めました。

「〔それを見て、〕この種の規約の中では最高のものだ」とジョセフは言いました。しかし、これは皆さんが望んでいるものではありません。姉妹たちに伝えてください。皆さんのささげ物は主に受け入れられており、主は皆さんに、この規約以上に良いものを備えておられます。……わたしは女性たちを神権の下に、神権の規範に倣って組織します。」(『聖徒たち』第1巻, 425-426参照)

1842年3月17日、神はジョセフ・スミスに扶助協会を組織するよう指示されました。今日も扶助協会の指導者に靈感を与え続けておられ、姉妹たちは教会員のみならず数え切れないほどの人々に仕え、力づけています。

教義と聖約58:26-28を読み、靈感を受けて扶助協会の設立につながる行動を取った女性とどのように関連しているかを見つけてください。